バスラ日誌(3月25日)

- 1 夏が近づいている。というか、ほぼ夏と言っていいくらいの暑さになってきた。日本に比べて湿度が高くない分、それほど不快感は感じないが、日差しは非常に強い。本格的な夏になるともっと暑いと聞いているので、現在は半分楽しみ半分不安な状態である。さて、夏といえば日本でもおなじみの「蚊」である。ここバスラでも蚊が発生している。水はけが悪い土地なので、今でも大きな水たまりがあちこちに残っており、我々には甚だ迷惑な話だが、蚊が発生するのに良い環境を与えている。既に我々もこちらの蚊の洗礼を受けたが、日本の蚊の毒に比べて強力なのか、痒みがなかなか引かなかった。虫さされ薬の我が国代表(?)といっても過音ではない「ムヒ」をもってしてもである。これは予防的処置を講ずるしかないと考え、日本の最終兵器(?)「蚊取り線香」を投入した。これを使うと、部屋中の物が蚊取り線香のにおいに汚染(?)されてしまうので躊躇していたが、マラリアの恐怖もあるためやむを得ず使用した。結果は、「素晴らしい」の一言であった。それ以来部屋で蚊に刺されることはなくなった。さすがに昔から日本で使われてきたものであり、海外でも通用するその効果に感心した。少々においはきついが、ここイラクで「日本の夏」を味わうのも一興であると感じた。
- 2 MND(SE)には、いつもヘリコプターの調整ではお世話になっているが、今回は本日中に菅原室長がサマワに帰れるようヘリを申請したが、室長と警護員の二人だけのスペシャル・フライトとなっていた。ヘリ調整担当のにお礼を述べると、「仕事だから気にしなくていいよ。因った時はいつでも言ってくれ。」と逆に励まされてしまった。英国人は最初はとっつきにくいが、話してみると非常に謙虚で、思いやりのある人達だと思う。この人達と勤務できることを幸せに感じる今日この頃である。



スミッティLO日々業務報告(3月25日)

